

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第2回新町小学校学校運営協議会
日時	令和6年11月5日（火曜日） 13時30分～16時10分
場所	新町小学校 プレハブ2階 会議室
出席委員	武田 和子会長、佐藤 克則委員、高橋 裕一委員、 忍足 順子委員、中里 由架利委員、上原 悦子委員、 田邊 昭子委員、萩原 基雄委員、安保 聡美委員、 安野 修司委員、荒幡 光宏（新町小学校長）
欠席委員	なし
事務局	斎藤 隆教頭、岩田 宏子教務主任、三浦 芙美代事務主幹
議題	(1) ここまでの学校運営について (2) 来年度の学校行事等について (3) 「温かい心と心をつなぐ学校・家庭・地域」について ～少しの伸びを実感させるために～の熟議 (4) 情報交換（授業参観において気づいた点）
配布資料	資料1 第2回新町小学校学校運営協議会次第 資料2 令和6年度グランドデザイン 資料3 熟議シート 資料4 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について 資料5 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙の結果の概要 資料6 令和6年度鶴ヶ島市立新町小学校年間行事予定表 資料7 学校だより「明日への希望」第6・7号 資料8 令和6年11月5日（火）5校時 各学級の授業一覧 資料9 令和6年度学校評価共通項目集計表
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 令和6年度の学校経営方針について 令和6年度学校経営方針について校長が説明し、委員からご意見をいただいた。 (2) 学校・家庭・地域における諸課題について2つのグループに分かれて熟議を行い、全体で共有した。

【挨拶】

（校長）先ほどは、授業をご覧になっていただきまして、誠にありがとうございます。あっという間に10月が終わりまして、今年度もあと半分になりました。時は早いなという風に思います。先日も大きな行事である、連合運動会や運動会、5年生の自然体験学習が無事に終わりました。このような行事に対して子供たちには、できる喜びを実感させてお

ります。子供たちがこうして安心・安全で過ごせるのは、学校運営協議会の皆様、地域の皆様、保護者の皆様のお陰なんだと感じております。今日、ご覧になっていただいて子供たちの笑顔が見られるというのを当たり前にはいけないかなと思います。このように地域・保護者の皆様に支えていただいているからこそ、私たちは充実した学校生活を送れるんだということを改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。今年度も残り半分になりますが、新町小の子供たちのために、皆様と一緒に「温かい心と心をつないで」最高の新町小学校を造り上げていきたいと思います。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

(会長) いつも優しく私たちを見守っていただきありがとうございます。私の近所の小学生が朝お父さんに付き添われまして集合場所まで行っています。私が庭に立ってましたら、多分校長先生が言い出したからだと思うんですけど、すごい大きい声で「おはようございます」とうちの方まで聞こえました。校長先生が朝、町屋の方まで来てくれて、あの子どものためにそういう風にしてくださっているんだなと思いました。まだまだ勤務時間ではないのにそのような早い時間に町屋の方まで来て見守ってくださるということは、そんなにあることじゃないなと思っています。私が、主任児童委員をした時に、お母さんが一緒になって夜遅くまでテレビを見てて子供を起こさなかったお家に校長先生が起こしに来ていました。「校長先生は 800 名の生徒がいるのでそちらを見てください。私が行きます。」と言ったこともあります。皆さん多分校長先生の朝の姿を見てないと思うのでご報告がてら挨拶といたします。ありがとうございます。

議題 1, ここまでの学校運営について

(校長)・2 学期の学校行事の写真を元に取り組んだ子ども達の様子を説明した。

- ・グランドデザインの中で子ども達に 1 番伝えたい「生きる力～どんなときも～自分で気づきしっかり考えすぐに行動する」について説明した。
- ・熟議シート「温かい心と心をつなぐ」について根底にあるのは子ども達への深い愛情、そして感謝の気持ちであると説明した。
- ・学校だよりを元に子どもの成長（伸び）を実感させ、積み上げていく取組について説明した。
- ・連合運動会での 6 年生の素晴らしい姿や 5 年生への来年への期待について説明した。5・6 年生が学校の代表という自覚を持ち成長できたと思う。
- ・運動会は、皆様のご協力によって盛大に行われた。一人一人の伸びを実感できた。
- ・教師は今、目の前にいる子供たちの実態を踏まえて どこまで高めてあげたらいいのか、何を学ばせたらよいかを日々研究している。地域に出た時に本当の力として育つことを目指している。
- ・物を渡してあげたり、おごってあげたりする友達とのトラブルや自転車の乗り方、公共施設のルール等、放課後の過ごし方に課題がある。
- ・10 月 28 日 に地域の方から児童の自転車の乗り方（交差点で一時停止をせず、2 列で右側通行）について電話をいただいた。その方はその場で児童に指導をしてくださった。

学校でも校長が全校放送で指導を行った。地域の方にも毅然とご指導していただけるとありがたい。

議題2、来年度の学校行事等について

(岩田) 本年度の6年生に行った全国学力学習状況調査結果の概要と今後の取り組みについて説明した。

- ・国語のA「話すこと聞くこと」は、平均正答数全国が1.8問に対して本校は1.7問、B「書くこと」が全国1.4問に対して本校1.3問、C「読むこと」は全国2.1問に対して2.0問ということで、全国とほとんど差異なく若干下回る状況である。算数の方が全国の平均正答数より下回る傾向が見て取れる。
- ・埼玉県調査は昨年度と本年度の伸びを比較する調査である。本校は今ここにデータはないが、市内でも最高の伸び率になっている。
- ・質問紙調査について。生活も学力と大きな関わりがある。特に良かったのが3番「先生はあなたの良いところを認めてくれると思いますか」という項目で本校は、「先生が良いところを認めてくれてる」という風に思ってもらえてるのがよく分かる。全国と比べてもかなり数値が良い。「学校以外で普段月から金1日に1時間以上勉強してる」割合がかなり下回っている状況なので、算数などの習熟が必要なものは若干下回ってしまう可能性もあるのかもしれないと思う。
- ・本校教師は実態を踏まえ、それをどう伸ばすかということに着目して本年は手立てを立てている。

1つ目は、本年は「一人一人の伸びを実感させる」ために、ここがこう伸びたね、と実感させることである。そのことによって自己有用感、「自分はできるんだ」とか「役に立つんだ」とか「やればできるんだ」という気持ちをもたせ、それを学習意欲につなげて確かな学力を育成しようと思っている。やはり、放課後に色々問題を起こしてしまうとか、習熟が足りないとかいうことは、「自分がこうなりたい」という気持ちに火をつけなくてはならない。そのためには自分の伸びを実感させようということになった。

2つ目は、日々の教育活動の中に自己有用感を育む視点を意図的に取り入れる。

3つ目は、生徒指導を意識し自分たちの取り組みを定期点検し改善につなげる。

4つ目は、全教員で特技を生かして関わり、その情報を共有する。例えば今うまくいかないお子さんがいたら全職員で声をかけるとのこと、そして声をかけられてるかということも共有して課題に当たっていかうと、取り組んでいる。

地域の方、ご家庭の方に何をしていただきたいか、これからどういうふうにお声かけしたらいいか考えていきたい。今日のご意見をお聞かせいただきたい。

(岩田) 本校の6年生が昨年度5年生の時にに行った令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙の結果の概要について説明した。

- ・男子の約半数近くが平日に学習以外にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォンを4時間以上使用しており、全国に比べ非常に高い。また、睡眠時間8時間未満が4割もいる。

- ・女子の方は全国とそんなに変わらなかったり、良かったりする傾向がある。
- ・タブレット、スマートフォン、ゲーム等の使用時間が長いのでその時間を見直してもらって睡眠時間を十分に確保してもらい、朝食をとってから学校に来ると意欲的に生活ができる。児童自ら改善できるように自己指導能力を育成するとともに家庭にも呼びかけて改善していきたいと思っている。こちらの方についても何かお知恵がございましたら後で教えていただきたい。放課後の過ごし方というのが 同じキーワードになっていると思う。

(岩田) 来年度の学校行事等について説明した。

- ・本年の年間行事予定表と大きく変化はない。本年も一定の教育効果が見られている学習ばかりなので、このままこちらをベースにして来年度を計画していく予定である。
- ・地域の方々にご協力をお願いしたいと思っているところが引き渡し訓練である。大規模な災害時に備えて、中学校地域一体化訓練をすることで効果が高まるだろうということで、中学校と一緒に引き渡し訓練をお願いしたいと思っている。保護者がすぐに駆けつけられない時にも中学生が活躍してくれるであろうという視点で、今回取り組んでいきたいと思う。その時期だけ少しまた検討して新しく年間行事に盛り込もうと思っている。

(教頭) 現在、早朝 8 時から 18 時まで職員が電話に出て対応するという形になっているが、長時間の勤務に耐えられず、それを続けているとパフォーマンスが下がるという観点から、働き方改革ということも踏まえて 8 時から 18 時の電話対応を少し変更していきたいと考えている。現在の 18 時 というのは私たちの勤務時間 16 時 50 分から考えると 1 時間 10 分 の超過となる。その間、用事がないとしても、誰か職員が残らなければならない状況になっている。重要な案件が生じた際は迅速な対応が必要だが、毎日がそういうわけではないと思う。基本的には市内全校で同様の対応を取っていて、時間外は留守番電話の対応である。時間外に緊急案件があれば、市役所等に連絡していただくことで校長あるいは学校に連絡が来るというシステムになっている。学校での 18 時までの対応というのはかなり厳しくなってきたということで 17 時 30 分、つまりあと 30 分繰り上げたいと考えている。現在保護者の皆様に慣れていただいて 18 時以降の連絡はほぼ来ない状況である。そこで、まず、委員の皆様に 17 時 30 分からの留守電対応をご理解いただき進めていければと思う。教職員の心と体が健康であることが子ども達の健やかな成長につながっていきますので、ぜひご理解いただいて、何かが問われた時に学校はそういう考えであるという風にお伝えいただくと非常にありがたい。ぜひ、ご理解いただければと思う。

議題 3, 「温かい心と心をつなぐ学校・家庭・地域」について～少しの伸びを実感させるために～の熟議

2 つのグループに分かれて熟議を行った。

A グループ

- ・子供にはそれぞれ成長段階があるので、今できていなくてもできる時が必ず来るということを信じて日々の声掛けや小さなことでも褒めてあげてその子供たちが成長できるように大人が声掛けをし続けることが大事である。
- ・以前、挨拶ができなかった子もこちらが一生懸命挨拶をしていたら、学年が上がって成長してきて今度はその子たちの方も大きな声で挨拶ができるようになったことがあった。
- ・すごく根気は必要だと思うが、あまり大人が口を出しすぎずに自分で考えて行動させるようにしている。その時に失敗した時には、ほら言ったでしょうではないが、また違う道にそれそうになった時は違う方向から大人がアドバイスする。
- ・市民センターのゴミ問題もあったと思うが、大人たちだけが頑張るのではなく子ども達でそういう社会問題、ゴミとかのことをどうしたら解決できるのかというのを子ども達に考えてもらう方法をとってみてもいいのでは。
- ・以前 センターと西児童館の方に新町小学校の福祉委員会の子ども達がお掃除に来てくれたことがあった。落ち葉を掃いてくれたり児童館のお部屋の中のテーブルや椅子を全部拭いてくれたりしたことがあった。そういった地域の掃除を通して、いつも遊んでる場所を掃除しに行くよということで、そういう気持ちを芽生えさせる、考えさせられるようなことにもつながるんじゃないかなというふうに感じた。
- ・自治会の中では子供部会があり子ども達にも地域の道路の掃除に参加してもらって自分たちの地域をすごく好きになってもらって街をきれいにしていくということもしている。
- ・色々な問題があるとは思いますが、この新町地区というのは朝の登校から下校まで地域の方の大人が目がたくさんあって見守られている。改めてすごく地域に関して充実した地区だなと感じる。
- ・子ども達が 横断歩道を渡る時におしゃべりしないで渡るようにしてほしい。自分自身できちんと安全に気をつける意識を持てるように是非その指導をお願いしたい。

B グループ

- ・放課後、市民センターへ遊びに来る子が結構多い。階段を上り下りしたり、向こうの扉から向こうの扉へ駆け抜けたりして鬼ごっこをされていて、私から見ても危ないシーンが何度かある。
- ・お菓子をみんなが持ち寄って食べかすをそのままにして帰る子がやはり今もまだいる。そういう子ども達に対して私たちが何ができるのかというのはなかなか難しい。
- ・働いているご家庭が多いので家に帰っても一人になってしまったり、ご飯が用意されたりしていないのかもしれない。みんなと一緒にいれば安心というのがあり市民センターにいるのかもしれない。
- ・市民センターでは、お家に帰らないでいいのかと心配し帰りなさいとお声をかけてくれている場面を何度も見た。親御さんの的にはもしかしたら 市民センターにお子さんがいる方が安心なのではないかなと思う。子どもにとって市民センターは本当にいい場所というか そういう場所になっているのかなと情報交換をしてる中で感じた。
- ・鬼ごっこの場所として使っていないわけではないし、お菓子をそのままにして帰っていいわけでもない。一番大事なのは挨拶、コミュニケーションである。子どもが聞いてくれなくてもやっ

ぱり大人が知らしめていかないといけない。

- ・今、夕焼け放送が4時半になっている。4時半だとまだ明るいので、多分6時までいいよというご家庭もある。早く帰りなさいと何度も声をかけるが、各家庭で話し合ったルールなのでそれはもうしょうがないのかな。
- ・解決方法は見つからないかもしれないが、諦めずに子供たちを見守るところでは学校・地域・家庭で永遠に続くことだと思うので、またいろいろな人の意見を取り入れながら試行錯誤しながらいけばいい。

議題4、情報交換（授業参観において気づいた点）

（委員）特別支援学級の中で、発達障害のクラスがあることを3年前に初めて知った。そのクラスはみんな楽しそうにされていて、すごい笑顔の写真も貼ってあり、作った物もすごくクオリティの高い物があった。大人になって集団生活が苦手だと社会に出て気づくよりは自分で現段階でちょっと苦手だなということに気づくことが出来ればすごくいいことかな、とこの3年で感じた。廊下が綺麗になったので、廊下をきれいに維持できるよう教育を行える今がチャンスだと思う。

（委員）特別支援学級の時計の表示がすごくすっきりしていた。あの方が見やすい子どもが多いと思う。今日、支援級に関しては視覚支援という形で自分のペースで線が入っていてすごく分かりやすくいいなと感じた。また、3組ではどれが違うのかというのを授業で行っていた。本当に工夫されていて、あの子たちが社会に出た時にそういうことがすごく重要になる。先生たちはいろいろ考えて支援に関してもすごく新しいものを取り入れたりいろんな教材を使ったりしていてすごく良かったと思う。また、他の学年に関してはミシンをできた子がその次の子に教えたりしていてすごくいいなと感じた。

連絡

（教頭）・学校評価を来年2月に配布した項目でいただきたい。

- ・ 次回の協議会は令和7年2月7日 金曜日。（予定）
- ・ 電話対応についてお諮りいただきたい。

（会長）電話対応についてお諮りする。学校への連絡は17時30分までということを学校運営協議会の委員に提案をいただいた。その提案につきまして皆さんに賛否を取りたいと思う。質問がありましたら挙手を願う。

（委員）・緊急の案件は市役所にというが、どの程度が緊急の案件になるのか。

- ・ 何か学校に連絡したいときに連絡が取れないのは心配。
- ・ 連携が取りづらくなる。

（会長）次の日の朝まで待てないのなら以前警察にお願いしたことがある。夜間でも警察は聞いてもらえる。守秘義務は守られる。学校でなくても警察でも大丈夫。

(委員) 先生方にも生活がある。次の教師になる世代のこともある。基本 17 時 30 分ということで、その後一切対応しないというわけではないだろう。

(校長) これまで通り、事前にご連絡をいただければ、17 時 30 分以降も対応する。

(委員) 連絡を取り合わなくてはならないときに、連絡が取れば大丈夫。

(会長) それでは、質問が無いようなので、ご承認いただける場合は挙手を願う。挙手多数により基本 17 時 30 分で、承認された。感謝申し上げます。